

【第1号議案】

平成28年度事業報告及び決算報告について
(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

平成28年度事業報告について

1. 登録会員数(平成28年10月31日現在)

個人会員	288名
学生会員	12名
法人会員A	60社
法人会員B	4社
公益会員	4社

2. 一般社団法人環境放射能除染学会 理事会及び総会
理事会及び総会を以下の通り開催した。

1) 第4回理事会

日時;平成27年11月30日(金)
場所;ハロー貸会議室新橋ルームF

審議事項

第1号議案 平成27年度事業報告及び会計報告について

事務局より議案書のとおり報告が行われ、賛成多数で承認された。

第2号議案 平成28年度事業計画及び収支予算について

事務局より、つくば事務所の移転に伴う予算の計上を含めて、議案書のとおり報告が行われ賛成多数で承認された。

第3号議案 平成28年度定時社員総会の開催について

議案書のとおり、平成28年度定時社員総会を次のとおり開催することが賛成多数で承認された。

報告事項

第1号報告 業務執行理事の職務執行状況について

第2号報告 理事、監事の選任について

第3号報告 代表理事、副理事長及び業務執行理事の選任について

第4号報告 会長、副会長の選任について

第5号報告 名誉会長、顧問の選任について

以上の報告事項について説明があった。

2) 第5回理事会

日時;平成28年1月22日(金)
場所;ハロー貸会議室新橋ルームG

審議事項

第1号議案 代表理事、副理事長及び業務執行理事の選任について

第2回定時社員総会で選出された理事の中から、第4回理事会の推薦のとおり代表

理事および業務執行理事に森田昌敏理事、副理事長に大迫政浩理事、田畑日出男理事が全員一致で選任された。

第2号議案 会長、副会長の選任について

事務局より提案され、会長には森田昌敏理事長が兼務、副会長には塚田高明理事、米田稔理事の選任が全員一致により承認された。

第3号議案 名誉会長、顧問の選任について

名誉会長、顧問については、定款34条の規定により、名誉会長に不破敬一郎氏、顧問に鈴木基之氏が推薦され、全員一致で選任された。

3) 第6回理事会

日時；平成28年7月6日（水）

場所；とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）1階会議室

報告事項

第1号報告 職務執行状況報告について

業務執行理事の職務執行状況（平成27年11月～平成28年7月）が報告され、異議なく了承された。

第2号報告 第6回研究発表会について

第6回研究発表会（平成29年）の開催場所として、いわき市・東京都等が提案され、第一候補としていわき市が選ばれ、会場、日程および見学会などのサイドイベントを早急に詰めることにした。第二候補としては東京都のタワーホール船堀が挙げられた。

第3号報告 学会の名称変更の検討について

学会活動を除染以外にも広げるため、名称の提案を次回の総会までに用意することとした。

4) 第2回定時社員総会

日時；平成28年1月22日（金）

場所；ハロー貸会議室新橋ルームH

審議事項

第1号議案 平成27年度事業報告及び会計報告について

監事より、業務報告書及び法人の収支状況および財政状況の監査の報告があった。事務局より以上の報告が行われ、賛成多数で承認された。

第2号議案 理事、監事の選任について

事務局より、昨年11月の第4回理事会において承認を受けた新役員名簿(案)について報告が行われ、賛成多数で承認された。

第3号議案 評議員の選任について

当協会の評議員は、定款上（32条）会員の互選によって選出されると定められている。任期等は理事の規定が準用されるため、理事と同様の手順で次の評議員名簿案を作成、承認された。

報告事項

第1号報告 平成28年度事業計画及び収支予算について

第2号報告 業務執行理事の職務執行状況について

事務局より、以上のとおり第4回理事会にて承認されたことが報告された。

3. 講演会活動

第11回講演会

平成28年1月22日(金)にハロー貸会議室新橋ルームHにて「熱処理を中心とした減容化・再生利用技術」をテーマに第11回講演会を開催した。(参加者は92名)

演題は5題で、発表後論点整理を含めた総合討論を行った。プログラムは次の通り。

テーマ

熱処理を中心とした減容化・再生利用技術

1. 中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略の検討状況について

環境省 永野 喜代彦

2. 乾式Cs除去技術の概要と飯舘村蕨平における仮設資材化実証調査委託業務について

太平洋セメント株式会社 本間 健一

3. 熔融技術による様々な固形物からのセシウムの高効率分離

株式会社クボタ 釜田 陽介

4. 加熱化学処理によるセシウムの揮散除去

株式会社神鋼環境ソリューション 小倉 正裕

5. 除去土壌等の減容処理技術開発

日本原子力研究開発機構 加藤 貢

総合討論 —講演1～5の論点整理を含めて—

司会：国立環境研究所 大迫 政浩

4. 研究発表会

第5回研究発表会は、福島県福島市の「とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）」において、平成27年7月6日(水)～8日(金)の日程で行われ、研究発表会、環境省との共催による国際シンポジウム等を開催した。

今回の研究発表会の課題数は口頭の研究発表68題(うち、企画セッション8題)、ポスターによる発表53題であった。また、最終日の国際シンポジウムでは、日本の4名の講演者と2名の海外招聘者による講演があった。テーマ別の発表概要をセッション別にまとめると次の通り。

<口頭発表>

①除染技術

②減容技術

③陸海域の汚染

④食の安全・野生生物

⑤リスクコミュニケーション

- ⑥効果や影響の評価
- ⑦廃棄物対策
- ⑧水域底質の除染
- ⑨計測技術

<企画セッション1；粘土学会共催>

- *テーマ；「放射性セシウムはどこにくっついているの？」
- *5 テーマの講演と総合討論（座長：工学院大学 釜谷美則）

<企画セッション2；福島県環境創造センター共催>

テーマ：福島の世界回復に向けた環境創造センターの役割

第一部 環境創造センターの3つの構成機関からの取組の紹介

第二部 パネルディスカッション

*テーマ：「福島の世界回復に向けて環境創造センターに期待される役割」

コーディネータ：東京大学大学院 森口祐一、 パネリスト：6名

<ポスター発表>

- ①陸海域の汚染・野生生物・食の安全
- ②除染技術・計測技術
- ③保管貯蔵・廃棄物対策・減容技術
- ④環境再生・復旧・復興， リスクコミュニケーション

<国際シンポジウム>

テーマ —放射能汚染と除染技術の最近の動向—

- ①「日本における除染・中間貯蔵の現状について」 環境省 小沢 晴司氏
- ②「環境動態のモデルシミュレーションおよびセシウム除去技術について」
ワシントン州立大学 前パシフィック ノースウエスト国立研究所 大西 康夫氏
- ③「放射能除染・廃棄物最小化技術および
放射能リスクコミュニケーションに係る米国環境庁の見解」
EPAリージョン4 ジョン・リチャーズ氏
- ④「山地・森林における放射性セシウムの移行挙動」
日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門福島環境安全センター 飯島 和毅氏
- ⑤「環境における放射性セシウムの挙動と除染技術について」
福島大学 環境放射能研究所 難波 謙二氏
- ⑥「減容化技術の現状と課題」
中間貯蔵・環境安全事業株式会社 谷津 龍太郎氏

<企業展等>

企業展示、環境関連やボランティア団体など51社/団体が参加し、企業のPRや活動の報告と共に、発表会参加者との意見交換、情報交流が出来た。

<物産展>

福島市観光コンベンション協会のご協力により、直前の依頼にもかかわらず4件の出店があった。

<共催団体>

環境省（国際シンポジウム）、一般社団法人廃棄物資源循環学会、公益社団法人日本化学会、公益社団法人日本工学アカデミー、公益社団法人日本分析化学会、日本放射線安全管理学会、公益社団法人日本保安用品協会、公益社団法人日本水環境学会、NPO 法人 Ecolink21・環境国際総合機構、公益社団法人環境科学会、一般社団法人日本粘土学会

以上 11 団体

<後援団体>

福島県、福島市、国立研究開発法人国立環境研究所、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、エコケミストリー研究会、日本放射化学会、公益社団法人土木学会、中間貯蔵・環境安全事業株式会社、公益社団法人日本気象学会、一般社団法人日本環境アセスメント協会、一般社団法人日本環境化学会、一般財団法人日本環境衛生センター、一般社団法人土壌環境センター、NPO 法人環境測定品質管理センター、一般社団法人日本原子力学会、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人大気環境学会、一般社団法人日本環境測定分析協会、公益社団法人高分子学会、一般社団法人海洋調査協会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人地盤工学会、日本商工会議所、東京商工会議所、福島商工会議所、一般社団法人福島県環境測定・放射能計測協会

5. ジャーナルの発行

本年度は、vol3 No4 から vol4 No3 までの4巻が発行された。

6. 対外協力

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が作成・運用を行う、福島第一原子力発電所事故に関する情報検索システム「福島原子力事故関連情報アーカイブ（FNAA）」への、第5回研究発表会要旨集の情報を提供し、12月より公開中。

平成28年度 収支計算書

平成27年11月1日から平成28年10月31日

一般社団法人 環境放射能除染学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異(決算-予算)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入				
個人会員会費収入	2,466,000	2,132,892	△ 333,108	
シニア会員会費収入	103,500	121,500	18,000	
学生会員会費収入	49,500	31,500	△ 18,000	
法人A会員会費収入	10,200,000	9,450,000	△ 750,000	
法人B会員会費収入	600,000	400,000	△ 200,000	
公益会員会費収入	200,000	200,000	0	
② 事業収入				
研究発表会収入	8,500,000	7,192,900	△ 1,307,100	
講演会費収入	800,000	404,000	△ 396,000	懇親会参加費含む
学会誌収入	600,000	395,400	△ 204,600	
既刊テキスト販売		64,620	64,620	
④ 雑収入				
受取利息収入	3,000	2,004	△ 996	
その他雑収入	0	0	0	
その他事業収入	0	495,310	495,310	国際シンポジウム支援費
事業活動収入計	23,522,000	20,890,126	△ 2,631,874	
2. 事業活動収支の部				
① 事業費支出				
研究発表会支出	6,450,000	6,186,988	△ 263,012	
講演会費支出	900,000	613,794	△ 286,206	
講演会印刷物支出		194,400		
講演会運営費支出		120,960		会場・会議費含
講演会謝金・旅費交通費支出		74,874		
講演会雑支出		223,560		懇親会費含
事業費(その他)	0	0	0	
学会誌等刊行費支出	3,000,000	3,082,844	82,844	
部会活動費支出	600,000	0	△ 600,000	
② 管理費支出				
人件費支出	3,600,000	3,000,000	△ 600,000	
法定福利費	0	533,156	533,156	
福利厚生費支出	540,000	18,360	△ 521,640	
ホームページ運営費支出	50,000	0	△ 50,000	
会議費支出	122,000	192,820	70,820	
旅費交通費支出	200,000	515,305	315,305	
通信運搬費支出	450,000	429,248	△ 20,752	運搬費含
消耗品費	600,000	609,276	9,276	コピー機レンタル料含
事務所費支出	3,330,000	2,586,446	△ 743,554	水道光熱費・家賃含
支払手数料支出	70,000	52,704	△ 17,296	
業務委託費支出	2,700,000	2,853,600	153,600	事務支援
雑支出	110,000	78,064	△ 31,936	
事務所移転費	500,000	0	△ 500,000	
租税公課	300,000	202,700	△ 97,300	消費税含
事業活動支出計	23,522,000	20,955,305	△ 2,566,695	
事業活動収支差額	0	△ 65,179	△ 65,179	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
V 収支差額				
当期収支差額	0	△ 65,179	△ 65,179	
前期繰越収支差額	21,253,014	21,253,014	0	
次期繰越収支差額 *	21,253,014	21,187,835	△ 65,179	

*安定化資金5,000,000円及び10周年記念事業積立金5,000,000円を含む

貸借対照表

平成28年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能除染学会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産の部)		(流動負債)	
現金	184,596	未払金	192,100
普通預金	20,130,991	未払費用	231,777
郵便貯金	302,673	前受金	0
前払費用	299,700	預り金	20,200
未収入金	3,700		
流動資産合計	20,921,660	流動負債合計	444,077
(固定資産)		(正味財産の部)	
敷金	705,252	一般正味財産	21,187,835
差入保証金	5,000		
固定資産合計	710,252	正味財産合計	21,187,835
資産合計	21,631,912	負債及び正味財産合計	21,631,912

財産目録

平成28年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能除染学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)				
現金		つくば事務所保管	運転資金として	63,275
		東京事務所保管	運転資金として	121,321
普通預金		普通預金	運転資金として	19,405,197
		三井住友銀行つくば支店		
		普通預金	運転資金として	725,794
		三井住友銀行自由が丘支店		
郵便貯金		普通貯金	運転資金として	302,673
		ゆうちょ銀行		
前払費用			学会誌	299,700
				3,700
流動資産合計				20,921,660
(固定資産)				
その他固定資産	敷金		東京事務所	705,252
	差入保証金		つくば駐車場	5,000
固定資産合計				710,252
資産合計				21,631,912
(流動負債)				
未払金			消費税	192,100
未払費用		学会誌支出	人件・交通費等	134,200
		管理費支出	運搬・消耗品費等	97,577
前受金				0
預り金			源泉所得税	20,200
流動負債合計				444,077
負債合計				444,077
正味財産				21,187,835

平成 28 年度監事監査報告書

平成 28 年 12 月 1 日

一般社団法人 環境放射能除染学会

監事

中川友夫



監事

柴田康行



1. 帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要事項と思われる監査手法を用いて
計算書類の正確性を検討した結果、貸借対照表、財産目録、収支計算書は、
会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財政状況を正しく示し
ているものと認める。
2. 事業報告については、事業報告書の内容は真実であると認める。

【第1号報告】平成29年度事業計画および収支予算について
(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

平成29年度事業計画について

1. 登録会員数

学会の発展と安定的な運営に資するため会員の定着および着実な増加を目指す。

平成28年10月31日現在の会員数は次の通り。

個人会員	288名
学生会員	12名
法人会員A	60社
法人会員B	4社
公益会員	4社

この数を上まわる会員数目標を達成するため、会員の要請に応える事業を展開するとともに、広く関係機関に広報活動を行う。

2. 定時総会の開催

次のとおり開催。

日時：平成29年1月27日(金) 11:40～12:20

場所：東京国際フォーラム ガラス棟6階 会議室 G610

3. 講演会

年2回以上の講演会開催を目標とする。なお、今後の講演会の一部は、分科会活動と連携しつつ行う。

・第12回講演会

日時：平成29年1月27日(金)：定時社員総会に併設して実施

テーマ：福島環境回復と廃炉に向けた技術展開（5題の講演および総合討論）

場所：東京国際フォーラム ガラス棟6階 会議室 G610

・第13回講演会：計画中

4. 研究発表会

第6回研究発表を福島県福島市において開催する予定。

日時：平成28年7月19日(水)～7月20日(木)。

21日(金)はエクスカージョン（現地視察研修）を予定。

5. ジャーナルの発行

学会誌の発行は年4回を予定。

6. 分科会活動

分科会を設置し、分野別に各種知見・技術をとりまとめることは学会発足以来の課題となっている。今後、関係機関と連携をしつつ、講演会活動、現地視察研修等を通じて段階的に活動を具体化する。

7. 関係機関との協力

中間貯蔵・環境安全事業株式会社との「連携・協力に関する協定」に基づき連携・協力の実質化を開始する。

8. その他

学会事務局の事務の効率化を図るため、現行の本部(つくば市)、東京事務所の業務分担をより適切なものとする。具体には、今後、東京事務所を主たる事務所とすることを念頭に置き、スムーズな事務の移行を行う。

平成29年度 予算書(案)

平成28年11月1日から平成29年10月31日

一般社団法人 環境放射能除染学会

単位:円

科 目	29年度予算	前年度予算	参考:前年度実績(暫定)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入			
個人会員会費収入	2,130,000	2,466,000	2,132,892
シニア会員会費収入	121,500	103,500	121,500
学生会員会費収入	31,500	49,500	31,500
法人A会員会費収入	9,450,000	10,200,000	9,450,000
法人B会員会費収入	400,000	600,000	400,000
公益会員会費収入	200,000	200,000	200,000
② 事業収入			
研究発表会収入	7,200,000	8,500,000	7,192,900
講演会参加費収入	400,000	800,000	404,000
学会誌収入	60,000	600,000	395,400
既刊テキスト販売			64,620
④ 雑収入			
受取利息収入	2,000	3,000	2,004
その他雑収入		0	
その他事業収入		0	495,310
事業活動収入計	19,995,000	23,522,000	20,890,126
2. 事業活動収支の部			
① 事業費支出			
研究発表会支出	6,250,000	6,450,000	6,186,988
講演会費支出	600,000	900,000	613,794
学会誌等刊行費支出	3,380,000	3,000,000	3,082,844
部会活動費支出	600,000	600,000	0
② 管理費支出			
人件費支出	3,200,000	3,600,000	3,000,000
法定福利費	540,000		533,156
福利厚生費支出	18,000	540,000	18,360
ホームページ管理・維持費支出	19,000	50,000	0
会議費支出	200,000	122,000	192,820
旅費交通費支出	515,000	200,000	515,305
通信・運搬費	430,000	450,000	429,248
消耗品費	600,000	600,000	609,276
事務所費支出	2,580,000	3,330,000	2,586,446
支払手数料支出	53,000	70,000	52,704
業務委託費支出	840,000	2,700,000	2,853,600
雑支出	110,000	110,000	78,064
事務所移転費	0	500,000	0
租税公課	60,000	300,000	202,700
事業活動支出計	19,995,000	23,522,000	20,955,305
事業活動収支差額	0	0	-65,179
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入合計			
2. 投資活動支出			
投資活動支出合計			
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
積立金取崩収入			
財務活動収入合計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出合計			
IV 予備費支出	0	0	0
V 正味財産期初残高			
当期収支差額	0	0	-65,179
前期繰越収支差額	21,187,835	21,253,014	21,187,835
次期繰越収支差額 *	21,187,835	21,253,014	21,187,835

* 安定化基金5,000,000円及び10周年記念事業積立金5,000,000円を含む

業務執行理事の職務執行状況(平成27年11月～平成28年10月)

月	月別主要行事等	月別主要業務
11月	11月11日:研究発表会企業展示打合せ 11月18日:研究発表会実行委員幹事会 11月30日:第4回理事会	・第5回研究発表会企画 ・理事会の案内状作成 ・第11回講演会企画 ・次年度事業計画・予算の検討 ・27年度会計整理
12月	12月3日:第5回研究発表会打合せ(環境省) 12月8日:第5回研究発表会打合せ(環境省) 12月15日:企業展示打合せ 12月17日:監査	・第5回研究発表会の企画 ・企業展の企画
1月	1月14日:研究発表会現地見学 1月19日:実行委員幹事会 1月22日:第11回講演会 1月22日:第2回定時社員総会・第5回理事会 1月29日:学会打合せ	・第11回講演会の実施 ・第5回研究発表会の企画
2月	2月5日:研究発表会打合せ 2月9日:国際シンポジウム打合せ 2月16日:研究発表会打合せ 2月19日:学会打合せ	・第5回研究発表会企画 ・国際シンポジウム企画
3月	3月11日:国際シンポジウム打合せ 3月18日:企業展示打合せ 3月18日:研究発表会実行委員幹事会 3月28日:国際シンポジウム打合せ	・第5回研究発表会企画 ・国際シンポジウム企画
4月	4月1日:企画セッション打合せ 4月7日:国際シンポジウム打合せ 4月12日:プログラム・国際シンポジウム打合せ 4月13日:展示等打合せ 4月15日:国際シンポジウム・企画セッション打合せ 4月18日:研究発表会現地見学 4月20日:国際シンポジウム打合せ 4月26日:学会打合せ	・第5回研究発表会企画 ・プログラムの企画 ・国際シンポジウム企画 ・第6回研究発表会企画
5月	5月2日:国際シンポジウム・企画セッション打合せ 5月10日:研究発表会実行委員幹事会 5月13日:国際シンポジウム打合せ(環境省) 5月17日:国際シンポジウム打合せ 5月20日:プログラム打合せ 5月30日:企業展示ガイドブック打合せ	・第5回研究発表会企画 ・国際シンポジウムの企画 ・研究発表会プログラム作成
6月	6月1日-2日:いわき視察 6月6日:研究発表会広報活動 6月10日:国際シンポジウム打合せ(環境省) 6月14日:研究発表会実行委員会 6月20日:研究発表会広報活動 6月23日:国際シンポジウム打合せ 6月27日:研究発表会実行委員幹事会 6月28日:研究発表会広報活動	・第5回研究発表会企画 ・広報活動 ・研究発表会のプログラム作成・要旨集作成 ・国際シンポジウム企画 ・第6回研究発表会企画
7月	7月6日～7日:第5回環境放射能除染研究発表会 7月6日:第6回理事会 7月8日:第5回放射能除染のための国際シンポジウム 7月13日:第6回研究発表会調査(会場について) 7月15日:第6回研究発表会打合せ 7月20日:第6回研究発表会打合せ	・第5回環境放射能除染学会研究発表会・ 国際シンポジウムの実施 ・理事会開催 ・第6回研究発表会企画
8月	8月8日:研究発表会実行委員会(第5回反省会) 8月10日:理事会・総会打合せ 8月19日:学会活動打合せ(環境省)	・第5回研究発表会反省会 ・第5回研究発表会報告(環境省等) ・理事会企画
9月	9月12日:事務局体制についての打合せ 9月29日:事務局体制についての打合せ	・事務局体制の見直し
10月	10月21日:実行委員会打合せ 10月24日:第6回研究発表会実行委員会 10月25日:事務局体制打合せ	・第6回研究発表会企画 ・事務局体制の打合せ

【第3号報告】

学会の名称変更の検討について

従来より、当学会の名称「環境放射能除染学会」について、「除染」に限定している学会との印象を持たれるのではないのか等様々な意見が出ている。事務局において、理事メンバーへのアンケート等を実施し、検討を行った。

一方で福島県を中心に行われている各種除染関連事業が計画の過渡期に当たることもあり、次のように扱いたい。

- ・当面、現学会名を維持し
- ・学会名称使用に当たって、学会の説明を加えること
(例えば、環境放射能除染学会 ー除染・中間貯蔵・環境修復・廃炉に向けてー)

また、今後とも、適切な名称の検討を実施する(なお、学会名の変更は、定款変更が必要となる)。

【第 4 号報告】

第 6 回研究発表会について

平成 29 年に開催する第 6 回研究発表会は、会場の都合等の制約を考慮して次のように開催する。

- ・日時 平成 29 年 7 月 19 日(水) ～7 月 20 日 (木)
- ・場所 福島市 とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)

また、21 日には、県内の適切な地域に赴き、現地視察研修を行うことを検討中。
なお、従来研究発表会にあわせて実施していた、国際シンポジウムは別途内容等を検討することとした。

【第 5 号報告】

事務局体制について

当学会は、本部を茨城県つくば市に、東京事務所を港区内におき、それぞれ活動を行っていた。今後、東京事務所を主たる事務所とすることを念頭に置き、スムーズな事務の移行を行う。

なお、主たる事務所の変更は、定款変更にあたることから、その時期は、学会名称の変更とのタイミング調整が必要である。